

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2024年3月29日）

■第2刷（2023年3月15日発行）の修正・更新箇所

※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758109130_corrections.pdf をご参照ください

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章 栄養療法の基本のキホン					
28	下から13～11行目	②NTS 適応はなく0点, ③絶食のため2点, ④下痢以外3つの消化器症状があり3点, ⑤寝たきりではないので0点, ⑥胃がんがあり1点,	②NTS 適応はなく0点, ③絶食のため2点, ④下痢以外3つの消化器症状があり3点, ⑤寝たきりではないので0点, ⑥胃がんがあり2点,		24/03/29
33	上から11行目	b) TEE = (25～30 kcal)/kg × SF:	b) TEE = (25～30 kcal)/kg × <u>体重(kg)</u> × SF:		24/03/29
37	「ここだけは Check!」 1つ目	総エネルギー必要量は、 BEE × AF × SF, あるいは25～30 kcal/kg × SF で算出する	総エネルギー必要量は、 BEE × AF × SF, あるいは25～30 kcal/kg × <u>体重(kg)</u> × SF で算出する		24/03/29
50	上から3行目(「㉠総エネルギー必要量」の1行目)	・理想体重 (IBW) の方が 実 体重より軽いので, IBW を使って算出します。	・理想体重 (IBW) の方が 現 体重より軽いので, IBW を使って算出します。		24/03/29
50	上から4～7行目(「㉠総エネルギー必要量」の2～5行目)	・体重あたりの消費エネルギー量を30 kcal/kg <u>として</u> 。 <u>BEE = 30 kcal/kg × 体重 = 30 × 56.3 = 1,689 kcal/日</u> ・SF1.15(CRP上昇による代謝亢進)とすると。 TEE = <u>BEE</u> × SF = <u>1,689</u> × 1.15 = 1,942 ≒ 1,940 kcal/日	・体重あたりの消費エネルギー量を30 kcal/kg <u>とし</u> , <u>SF1.15(CRP上昇による代謝亢進)</u> とすると。 TEE = <u>30 kcal/kg × 体重</u> × SF = <u>30 × 56.3</u> × 1.15 = 1,942 ≒ 1,940 kcal/日		24/03/29
52	上から3行目(「㉠総エネルギー必要量」の1行目)	・ 実 体重の方がIBWより軽いので, 実 体重を使って算出します。	・ 現 体重の方がIBWより軽いので, 現 体重を使って算出します。		24/03/29
52	上から4～7行目(「㉠総エネルギー必要量」の2～5行目)	・体重あたりの消費エネルギー量を25 kcal/kg <u>として</u> 。 <u>BEE = 25 kcal/kg × 50 = 1,250 kcal/日</u> ・SF1.2(発熱, CRP上昇, 換気障害による代謝亢進)とすると。 TEE = <u>1,250</u> × 1.2 = 1,500 kcal/日	・体重あたりの消費エネルギー量を25 kcal/kg <u>とし</u> , <u>SF1.2(発熱, CRP上昇, 換気障害による代謝亢進)</u> とすると。 TEE = <u>25 kcal/kg × 50 kg</u> × 1.2 = 1,500 kcal/日		24/03/29
54	上から13行目(「㉠総エネルギー必要量」の1行目)	・ 実 体重の方がIBWより軽くかつ短期間で5 kg減少,	・ 現 体重の方がIBWより軽くかつ短期間で5 kg減少,		24/03/29
54	上から16～19行目(「㉠総エネルギー必要量」の4～7行目)	・体重あたりの消費エネルギー量を30 kcal/kg <u>として</u> 。 <u>BEE = 30 kcal/kg × 51 = 1,530 kcal/日</u> ・SF1.1(担がん状態による代謝亢進分を推測)とすると。 TEE = <u>1,530</u> × 1.1 = 1,683 ≒ 1,680 kcal/日	・体重あたりの消費エネルギー量を30 kcal/kg <u>とし</u> , <u>SF1.1(担がん状態による代謝亢進分を推測)</u> とすると。 TEE = <u>30 kcal/kg × 51 kg</u> × 1.1 = 1,683 ≒ 1,680 kcal/日		24/03/29
55	下から15～12行目(「3.具体的な食事・輸液処方を考えよう」の1～4行目)	短期間で10%程度の体重減少をきたしていることから, 栄養学的なリスクが高いと推測します。時間が許せば2週間程度栄養状態を改善してから手術を実施する方が, 術後の創傷治癒や感染性合併症の防止に有利です。術前の1週間は1,900 kcal/日 (SF1.15)に増量したいところです。	短期間で10%程度の体重減少をきたしていることから, 栄養学的なリスクが高いと推測します。時間が許せば2週間程度栄養状態を改善してから手術を実施する方が, 術後の創傷治癒や感染性合併症の防止に有利です。術前の1週間は1,750 kcal/日 (SF1.15)に増量したいところです。		24/03/29

62	下から11行目	TPNキット製剤や微量元素製剤には必須 脂肪酸 9種類のうち	TPNキット製剤や微量元素製剤には必須 微量元素 9種類のうち		24/03/29
第2章 経腸栄養療法のキホン					
87	下から5行目	前述 9種類 以外の栄養剤はすべて半消化態栄養剤であり,	前述 10種類 以外の栄養剤はすべて半消化態栄養剤であり,		24/03/29
89	図3 図中央の消化態栄養剤の下	(消化態栄養剤)食品 5種類	(消化態栄養剤)食品 6種類		24/03/29
90	下から3~2行目	現在200種類を超える半消化態栄養剤を利用することができますが, このうち医薬品は 5種類 。	現在200種類を超える半消化態栄養剤を利用することができますが, このうち医薬品は 6種類 。		24/03/29
101	上から6行目	上部 消化管 で吸収され残渣は残りません。	上部 小腸 で吸収され残渣は残りません。		24/03/29
第3章 静脈栄養療法のキホン					
173	上から12行目	水分量: $(2,000 \times 2) + (100 \times 2) = 2,200$ mL	水分量: $(1,000 \times 2) + (100 \times 2) = 2,200$ mL		24/03/29
213	上から8行目	重度の低栄養と判断して5 kcal/kg ではじめましょう。	重度の低栄養と判断して5 kcal/kg/日 ではじめましょう。		24/03/29
213	上から17行目	10 kcal/kg 以上に増量して(表2, 3・4日目)	10 kcal/kg/日 以上に増量して(表2, 3・4日目)		24/03/29